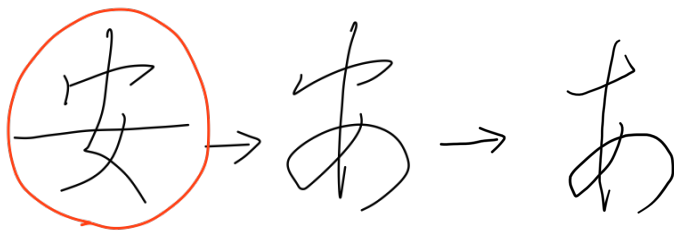




左が楷書に合うひらがなと、右が行書に合うひらがなです。



字源（ひらがなになるまでの基の字）です。

4ますカラーマスノート（AMWEC事務局 発行者一般社団法人日本医療福祉教育コミュニケーション協会）を参考にさせていただき、目で見てどこから書くのか、わかりやすくしました。

硬筆も楷書に合うひらがなと行書に合うひらがなの書き方は毛筆（上記）と同じです。

下記参考にして下さい。特に赤点の位置がポイントです。

参考にして書いていきましょう。

